

同賞は、地域社会のニーズに合った密着型のボランティア活動を継続して行っている人や組織を対象にしており、釧路からの受賞は



道善行賞



主役はスカ

釧路市動物園 14

釧路市動物園 2014

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔

3—①

広く体験呼び掛け

品も作るようになった。

を作っている。現在、釧路版画協会と版遊会の会長を務めている。

「モノクロ」に魅力

雑誌や作品を見ながら独

10代の終わりごろから、釧路の風景を題材にした木版の年賀状作り始めた。

その後、グループ展や個展などで作品を発表。07年に初出品した釧美展では、最高位の第90回記念賞を受賞。翌08年の91回展で会友、10年の第93回展で会員にな

「刷り上がって紙をはがすまで分からないのが木版画の魅力」と言う中川さん。版画を広めていきたいと願っており、毎月第3土曜日の午後、学習センター地下

「釧路川」原風景の一つに

学で木版画を学び、「釧路川」を原風景の一つとして創作活動を続けて

きた。「モノクロをベースにした作品が好き」と話す。自分の実力を試してみたいと今年初めて出品した全国規模の版画展、第63回板院展で研綱賞を受賞した。

1994年、多色刷りの作品が社内の文化展で社長賞を受賞し、本格的に木版画に取り組み始めた。2000年に学習センターの木版画教室に参加し、大きな作

った。07年から年に1作品、1枚ほどの大きさの作品に体験できます」と呼び掛けています。釧路町生まれ。

中川 敏彦さん(59)
(釧路市)
木版画

釧路川周辺をモノクロで表現するのが好きという中川さん



公益財団法人釧新教育芸術振興基金の2013年度郷土芸術賞の受賞者に決まった3人の横顔を3回にわたって紹介する。